

4年間の学びのステップ LEARNING STEPS OF 4YEARS

▶ カリキュラム ◎:必修

1年次	2年次	3年次	4年次
基礎	応用	発展	
<p>基礎的な知識を身に付け、2年次以降の専門的な学修の準備とする。</p> <p>大学共通科目(語学等)や商学部、経営学科で学ぶ基礎的な分野を中心に学修します。経営学コースではモチベーションや組織の構造など、経営情報学コースでは経営統計などを中心に学修し、2年次以降の専門的な学修に備えます。</p>	<p>経営学コース・経営情報学コースでの専門的な学修がスタートする。</p> <p>経営学コースでは国際経営論やマーケティング論、経営戦略論など、経営情報学コースでは情報ネットワーク論や生産管理論、財務管理論など、さまざまなビジネスに適用できる専門的な学問分野について学びます。</p>	<p>専門的な知識を深め、企業経営に運用できる調査・分析を行う。</p> <p>eビジネス論、イノベーション・マネジメント論、マーケティング戦略論など、より高度な専門分野を学びます。実際に企業の調査データをもとに、それぞれの企業の問題点や問題の創造的な解決策を検討しながら、その調査成果を学術的な研究としてまとめ、卒業論文として執筆・作成します。</p>	
<p>基礎</p> <p>◎基礎演習I・II ◎基礎経営学 基礎商学 基礎簿記 ビジネス情報処理基礎 ビジネス統計基礎 ビジネス・スタディ</p> <p>商学</p> <p>流通総論 産業論</p> <p>会計学</p> <p>簿記原理I・II</p> <p>研究・応用</p> <p>ビジネスキャリア形成演習 外国語発展研究I・II Problem Solving Skills for Global IssuesI・II</p>	<p>基礎</p> <p>演習I・II</p> <p>経営学</p> <p>マーケティング論 経営管理論 経営戦略論 経営組織論 現代企業論 人的資源管理論I・II 経営史 日本経営史</p> <p>経営情報学</p> <p>経営統計学 ビジネス予測 経営科学 意思決定論 情報ネットワーク論 知識情報処理論 データベース論 財務管理論I・II 生産管理論</p> <p>商学</p> <p>流通システム論 流通史 アジア企業論 グローバル・ビジネス論 多国籍企業論 地域ビジネス論 地域金融論 まちづくりと商業 貿易論 保険総論</p> <p>会計学</p> <p>簿記原理III・IV 工業簿記論I・II 会計学原理I・II 簿記会計史 財務諸表論I・II 原価計算論I・II</p>	<p>経営学</p> <p>経営倫理学 組織行動論 イノベーション・マネジメント論 マーケティング戦略論 国際経営論I・II</p> <p>経営情報学</p> <p>ビジネス多変量解析実習I・II 情報ネットワーク技術演習I・II ビジネスデータ管理演習I・II ビジネス・シミュレーション演習I・II eビジネス論 情報セキュリティ論</p> <p>商学</p> <p>外国為替論 商業政策論 銀行論 Global Business Culture 金融システム論 証券論 証券市場論 保険各論 保険史 リスク・マネジメント論 金融史</p> <p>会計学</p> <p>会計監査論I・II 租税法論I・II 管理会計論I・II 経営分析論I・II</p> <p>研究・応用</p> <p>専門演習I・II 外国語文献演習I・II キャリア発展研究 グローバル・スタディ特殊講義 卒論演習I・II 卒業論文</p>	

※上記カリキュラムは2023年度入学者より適用予定。

経営学コース	経営学コース	
	工藤 秀雄 教授	経営戦略論、イノベーション・マネジメント
	齋藤 靖 教授	組織論、管理論
	藤岡 豊 教授	国際経営論、国際経営史
	小野寺 香月 准教授	日本経営史、企業家研究
	平木 真朗 准教授	人事労務管理、労使関係
三井 雄一 准教授	広告論、マーケティング	
吉野 直人 准教授	現代企業論、経営倫理学	

経営情報学コース	経営情報学コース	
	王 曉華 教授	オペレーションズ・マネジメント、 サプライチェーン・マネジメント
	史 一華 教授	データベース、情報システム、電子商取引、eラーニング
	鄭 義哲 教授	財務管理論、証券投資論
	丸山 正博 教授	eビジネス、電子商取引、流通論、流通政策、マーケティング
	吉武 春光 教授	コンピュータ・ネットワーク、自然言語理解システム
橋本 翔 講師	経営統計学	

教員紹介

▶ 学科 PICK UP (ゼミの学び)

三井 雄一 准教授

ゼミテーマ 企業の市場活動、消費者の行動・心理

本ゼミでは、マーケティングの視点から、企業の市場活動や消費者の行動・心理について学ぶとともに、書籍や講義で得た知識が実務でどのように活用できるのかをプロジェクトを通して体験していきます。活動の具体的な内容としてはプレゼンテーション大会で他大学ゼミと競い合ったり、企業や行政が抱える課題に対して解決策の企画、提案、実践を行っています。これらの活動を通じて、マーケティングに関する知識の獲得に加えて、論理的思考力や提案力、実践力を養うことを目標にしています。



ZOOM IN カリキュラム

国際経営論

国際経営論では、企業が国境を超えて付加価値を創造、獲得、活用する方法を学びます。日本企業の海外現地法人は今や3万社を超え、その海外現地法人との効果的な連携は不可欠な要素になっております。この講義では、国際経営のそのダイナミックな側面について、統計や事例を織り交ぜながらわかりやすく解説していきます。

eビジネス論

店舗小売業との比較やデジタルコンテンツ市場成長の理由といった消費者向け取引、異業種間の協働やデータサイエンスによる生産性の向上といった企業間取引に加え、人工知能や自動運転車の成長など最新のeビジネスの特徴も学びます。担当教員の実務経験を活かした業界分析やデジタルマーケティングの分析も行います。

経営学コース	経営学コース	
	経営学入門	組織論・管理論
	働き方・生き方の社会科学	経営戦略論、イノベーション・マネジメント
	広告論、マーケティング	(日本)経営史・企業家研究
	現代企業の課題を考える	
	eビジネスと電子商取引	ビジネスデータマネジメント
データ分析とデータの視覚化	ビジネスプロセス・シミュレーション	
人工知能(AI)の衝撃	投資家の目で会社を見る(株式投資)	
市場調査の理論と応用		

主なゼミテーマ

STUDENT'S VOICE

企業の“今”を数字から解読する 難しさと面白さを実感。

会社を営んでいる父の影響もあり、企業を「お金」「人」の観点から追究したいと思うようになりました。現在は、消費者行動データの統計的分析方法について特に力を入れて学んでいます。統計分析に使用する数式や統計言語に苦戦しながらも、ゼミの仲間と共に切磋琢磨して取り組む日々。経営学の知識が身に付くにつれて、世の中の動きを意識するようになりました。コロナ禍における企業の動きや政府の対策など、興味は尽きません。今後は海外企業も含めた企業分析まで学びを深めたいです。

商学部経営学科経営情報コース 3年

山口 琉稀

(福岡県・新宮高等学校出身)

私が思う
経営学の面白さ
数字から人や企業のかたちを捉え、日本の今をつかむ

